
神 戸 港 港 湾 審 議 会 第 3 8 回 計 画 部 会

議 事 録

神戸港港湾審議会 第38回計画部会

1. 会議の日時及び場所

- (1) 日 時 令和8年5月12日(火) 午前10時30分開会
- (2) 場 所 神戸市役所1号館26階 神戸市会第1委員会室(web併用)

2. 出席委員の氏名

- (1) 学識経験者
石 黒 一 彦
山 縣 宣 彦
大 西 正 光
- (2) 市会議員
吉 田 健 吾
岩 佐 けんや
- (3) 港湾関係者
山 崎 秀 和
- (4) 関係行政機関の職員
齋 藤 博 之 (代理 白 熊 良 平)
松 村 謙 一

以上、出席委員 8 名（うち 1 名 web での出席）

欠席委員 1 名

3. 議事の経過概要及びその結果

- (1) 開会
 - (2) 委員の出席状況報告
委員総数9名中出席委員8名であり、本会議は有効に成立していることを報告
 - (3) 委員の紹介
 - (4) 神戸港港湾計画の軽易な変更について
事務局から説明
- | | |
|-------|-----------------------------|
| (資料・1 | 神戸港港湾計画変更（軽易な変更）について（諮問）（写） |
| | 臨港地区の変更について（諮問）（写） |
| (資料・2 | 神戸港港湾計画書（案）－軽易な変更－ |
| (資料・3 | 神戸港港湾計画資料（案）－軽易な変更－ |
| (資料・4 | 臨港地区の変更について（案） |

[質疑等要旨]

(委 員) みなと緑地 PPP を活用した新港第2突堤のように、神戸空港の緑地についても、民間活力を活用した賑わい創出を検討してはどうか。

(事務局) 緑地の具体的な計画はこれから。民間活力の活用も含め検討していきたい。

(委 員) マリーナ整備は、瀬戸内観光や神戸港の魅力向上につながる有望な事業として期待。

(事務局) スーパーヨットはもちろん、瀬戸内のクルーズについても各都市・各港と連携しながら魅力の発信に取り組んでいきたい。

(委 員) 今回計画しているマリーナは、船の整備やメンテナンスの機能は有していないようだが、そういった部分はどこで担保するのか。

(事務局) 瀬戸内海のネットワークの活用や、大型艇のメンテナンスについては海外の造船会社とも連携するなどして、利便性の向上に努める。

(委 員) 神戸の造船技術を活かすことも検討してはどうか。

(事務局) 新しいマリーナによるメンテナンスの需要等を見ながら検討していきたい。

(委 員) 人の往来の拠点としての港の価値を回復するという点でも、マリーナ計画は意義がある。市民も関われる場となるように計画を進めてもらいたい。

(事務局) 市民が海辺に親しみ、港町の文化を育むことができるような空間づくりにも取り組んでいく。事業者と連携して市民への発信・開放を図り、港の価値の向上にも注力していきたい。

以上の審議の結果、満場一致により原案を可決した。

(5) 閉会